

V その他

1 各種手続窓口等

1. 各種手続

各種諸手続については、下記により行ってください。詳細は担当窓口にお問い合わせください。

種 別	摘 要	担当窓口
休 学 願	2ヶ月以上修学することができない場合は、所定の用紙に指導教員の承諾を得た上で、願い出てください。病気の場合は医師の診断書、その他の場合は理由書等を添付してください。	医歯薬学総合研究科薬学系教務学生担当
復 学 願	休学期間内に休学の事由が解消した場合は、所定の用紙に指導教員の承諾を得た上で、願い出てください。休学事由が病気の場合は医師の診断書、その他の場合は理由書等を添付してください。	
退 学 願	所定の用紙に指導教員の承諾を得た上で、願い出てください。	
諸 証 明 書 の 発 行	在学証明書、成績証明書及び修了見込証明書、健康診断証明書は、証明書自動発行機（一般教育棟A棟1階に設置）で発行できます。その他の証明書については、薬学系教務学生担当に申し込んでください。	
住 所 等 変 更	本人及び保証人の住所・連絡先を変更した場合は、速やかに教務学生担当へ申し出るとともに、学務システム（WEB）により変更してください。	
本籍・氏名変更届	婚姻等の理由により改姓や本籍を変更した場合は、所定の用紙により速やかに教務学生担当に届け出てください。	
海外渡航・一時出国	海外に出張・研修・帰国のため出国する場合は、所定の用紙により、事前に教務学生担当に届け出てください。	
授 業 料 の 納 入	納期：前期分5月 後期分11月 指定期日に指定の預貯金口座から口座振替します。	薬学系 会計担当
学 生 証 の 再 発 行	学生証は、本学学生の身分を証明するものですので常に携帯してください。なお、紛失等は、速やかに、大学生協及び一般教育棟A棟2階学務企画課教育支援グループにて再発行の手続きを行ってください。	学務企画課
学 割 証	証明書自動発行機（一般教育棟A棟1階に設置）で発行できます。	学務部学生支援課
授 業 料 免 除	経済的理由により授業料の支払が困難であり、かつ学業優秀と認められる方に対しては、授業料免除の制度があります。申請時期、方法等については、岡山大学公式HP「入学科・授業料免除」を参照してください。	
奨 学 金	（日本人対象）奨学金には、日本学生支援機構の奨学金と民間及び地方公共団体の奨学金があります。詳細は岡山大学公式HP「奨学金」を参照するか学生支援課にお問い合わせください。	
	（留学生対象）留学生を対象とした様々な奨学金制度があります。詳細は掲示等で確認してください。	
駐 車 ・ 駐 輪 許 可 証	条件により許可証が交付されます。希望者は、安全衛生部へ申請してください。日程等詳細は、別途岡山大学ホームページ（駐車許可関係）及び薬学部掲示板に掲示します。	安全衛生部

担当窓口

医歯薬学総合研究科薬学系事務室教務学生担当，会計担当（薬学部棟1号館1F）

学務部学務企画課，学務部学生支援課（一般教育棟A棟2F）

安全衛生部安全管理課安全管理グループ（本部棟3F）

2. 掲示またはメール

大学から皆さんへの通知や連絡は、掲示または岡山大学Gメールによって行います。掲示またはメールした事項については、周知したものととして取扱います。必ず毎日掲示板、メールを見るように心がけてください。

薬学部の掲示板・・・薬学部教務学生担当事務室前の廊下

3. 学生教育研究災害傷害保険（学研災）

正課中，学校行事中，課外活動中，通学中，学校施設等相互間の移動中に本人が被った災害傷害を補償する保険「学生教育研究災害傷害保険」と，正課，学校行事及びその往復途中で，他人にケガをさせたり，他人の物を壊すなど相手方からの損害賠償を補償する保険「学研災付帯賠償責任保険」があります。入学時に全員加入してください。

なお，詳細は，学務部学生支援課に申し出てください。

4. 保健管理・保健サービス

保健管理センターでは，定期健康診断，特別健康診断（R I など），心身の健康相談，健康教育，応急手当，健康診断書の発行等を行っています。自己測定コーナーもあり，健康に過ごすため自由にご利用ください。（利用は無料）詳しくは保健管理センター玄関の掲示やホームページをご覧ください。

利用時間：月～金曜日 8：30～17：00（土・日曜日及び祝日を除く）

電 話：086-251-7217

URL：http://www.okayama-u.ac.jp/user/hokekan/index.shtml

E-mail:hokekan1@cc.okayama-u.ac.jp

★E-mailを送られる場合は必ず件名を入れてください。

5. 人身事故が起こったら

学内で事故のあったとき又はその場に遭遇したときは，慌てずその状況を的確に判断し，応急手当等施した後，保健管理センターに急行するか，「119」番で救急車を呼んでください。同時に，学生支援課や大学の守衛所へ連絡してください。

〔保健管理センター等の利用方法〕

下記に電話をかけ，事故及び事故者の状況を告げ，指示を受けてください。

・保健管理センター 電 話：086-251-7189

・学生支援課 電 話：086-251-7183

開室時間：月～金曜日8：30～17：00（土・日曜日及び祝日を除く）

・大学の守衛所 電 話：086-251-7096（夜間も可）

2 アカデミック・ハラスメントとその対応について

1. アカデミック・ハラスメントとは

アカデミック・ハラスメントとは、教育研究の場において、優越した地位にある者が、その地位を利用して教員や学生等に暴力的発言や行為などによって、相手に身体的・精神的な障害を与えることを言います。

優越的地位は、たとえば教員が学生の学位や単位認定を行うこと、教員の人事を決定する権限を有することなどから生まれます。教育研究の指導としての適切な範囲を超えた対応をする。たとえば、正当な理由なく単位認定を拒否する、あるいは研究テーマを与えない、一方的に研究テーマを強制する、恣意的な研究室運営をする行為などがそれにあたります。

2. アカデミック・ハラスメントの被害を受けたと思うときに望まれる対応

① 嫌なことは相手に対して明確に意思表示をすること

アカデミック・ハラスメントに対しては毅然とした態度をとること、すなわち、はっきりと自分の意志を相手に伝えることが重要です。しかし、背景に上下関係が存在する場合には直接相手に言いにくい場合もあります。そうした場合には、手紙を書くなどの手段をとるなど、工夫をして意思表示を行うという方法もあります。

② 信頼できる人などに相談すること

まず、同僚や友人などの身近な信頼できる人に相談することも一つの方法です。また学内のセクシュアル・ハラスメント等の相談員に相談する方法もあります。なお、相談するにあたっては、アカデミック・ハラスメントが発生した日時・内容等について正確に記録し、第三者の証言を得ておくことが望ましい。

3. 相談窓口

各学部・研究科等毎にハラスメント相談員が配置されていますが、所属学部等にかかわらず、どの相談員にでも相談できます。相談したいと思った相談員へ連絡をしてください。相談員名簿は掲示しています。

⇒岡山大学公式HP>教育・学生生活・就職>各種窓口案内>ハラスメント防止対策室>相談窓口の紹介

岡山大学では、ハラスメント防止対策室を設置しており専任相談員に相談することもできます。匿名ではいけないのか、加害者の名前を明らかにしなければいけないのか、迷われることもあるでしょう。相談したいことが起こったら、とにかく相談員に連絡しましょう。相談員は相談者の気持ちを尊重します。

ハラスメント防止対策室専任相談員の連絡先

E-mail : harass1@adm.okayama-u.ac.jp

津島地区

受付日時： 月曜日～金曜日（図書館休館日・祝日を除く） 10:00～12:00, 13:00～16:00

設置場所： 附属図書館西館3階

鹿田地区

受付日時： 月曜日, 金曜日（祝日除く）13:00～16:00

設置場所： 記念会館3階

その他学生相談室・学生相談窓口は次のとおりです。

【学生相談室】

開室日時： 月～金曜日（休日を除く）10:00～12:00, 13:00～17:00

受付場所： 一般教育棟C棟1階

連絡先： 電話：086-251-7169（受付）E-mail : nayami@cc.okayama-u.ac.jp

学生の通学が困難となる事由が発生した場合における授業等の取扱いについて《概念図》

公欠となる事項

1 気象警報・交通機関の運休

ケース①:
気象警報のうち、
(1)暴風警報
(2)暴風雪警報
(3)大雪警報(三朝を除く。)
(4)特別警報
のいずれかが発表されると…
ケース②:
教育担当理事の判断による休講

大学は休講(※1)

この場合、課外活動についても全て禁止

後日、補講を実施

※1 「休講」とは… 授業を取りやめること。

ケース③:
休講の対象とならない気象警報、交通機関の運行休止により通学が困難となった…

届け出ること、公欠

授業担当教員が、当該授業に相当する学習を課すものとする。

2 忌引き

学生の親族に不幸が…
ケース①: 配偶者
ケース②: 1親等(父母、子)
ケース③: 2親等(祖父母、兄弟姉妹、孫)

届け出ること、公欠

①配偶者 死亡日から(または葬儀等が行われた日を含む)連続7日以内
②1親等 死亡日から(または葬儀等が行われた日を含む)連続7日以内
③2親等 死亡日から(または葬儀等が行われた日を含む)連続3日以内

授業担当教員が、当該授業に相当する学習を課すものとする。

3 感染症

学生が、感染症に罹患し、出席停止となったら…
・インフルエンザ
・麻疹 など
※特定の感染症に限る。

届け出ること、公欠

医師の発行する病名・罹患期間の記載された診断書(治療証明書)に基づき、罹患期間=公欠期間とする。

授業担当教員が、当該授業に相当する学習を課すものとする。

インフルエンザ、麻疹などの集団発生の場合、感染拡大防止の措置として…

大学は休業(※2)

感染症罹患者の発生に伴い、感染症の感染拡大を防止する目的で行う休業措置については、本学の危機管理対策に基づきものとする。

休業となった期間の授業の取扱いは、その都度、学長及び教育担当理事等で協議の上、学長が決定するものとする。

※2 「休業」とは… 授業のみならず、研究活動についても行わないこと。原則として、大学への立ち入りを禁止する。

4 その他特別の事情

ケース①:
Jアラートが発信され、岡山県内に弾道ミサイルが落下した場合
(三朝地区の場合は、鳥取県内)

大学は休講(※1)

この場合、課外活動についても全て禁止

後日、補講を実施

※1 「休講」とは… 授業を取りやめること。

ケース②:
休講の対象とならない地域に弾道ミサイルが落下し、学生が通学に利用する交通機関の運行休止等により通学が困難となった場合

届け出ること、公欠

授業担当教員が、当該授業に相当する学習を課すものとする。

準公欠(※3)となる事項

1 裁判員制度

2 その他証人、参考人等として裁判所その他官公署へ出頭する場合

ケース①:
辞退せず、裁判員制度に基づき裁判所へ出頭したら…
ケース②:
証人や参考人等として、裁判所その他官公署へ出頭したら…

届け出ること、準公欠(※3)

①出頭したことの証明書を添付
②当該用務に従事した期間の証明書を添付

授業担当教員が、当該授業に相当する学習を課すものとする。

3 骨髄移植のための骨髄液提供等

ドナー候補者又はドナーとなり、検査、入院又は輸手続等のために医療機関へ赴く場合は…
※親族以外に提供する場合に限る。

届け出ること、準公欠(※3)

(財)骨髄移植推進財団の発行する証明書を添付

授業担当教員が、当該授業に相当する学習を課すものとする。

4 災害ボランティア活動

災害ボランティア活動に従事する場合は…
※学期当たり、最大7日間(往復に要する日数を含む。)を限度とする。
※対象となる災害は、公示する。

事前の申請により、準公欠(※3)

①保護者等及び指導教員等の了承を得た上で、事前に、申請書等を提出
②ボランティア活動終了後、ボランティア活動報告書の提出

授業担当教員が、当該授業に相当する学習を課すものとする。

※3 「準公欠」とは… 公欠に準じて取り扱う授業欠席のこと。

【注意】 ◆ 上記の各手続きは、所属学部・コース・研究科の教務担当窓口にて行ってください。
◆ 上記以外の授業欠席については、公欠又は準公欠になりません。

その他の欠席

公欠や準公欠とならない事由（主に、下表に掲げるもの）により授業を欠席をする場合は、必要に応じて関連書類を添付の上、欠席届を授業担当教員あてに直接提出してください。

欠席届の提出にかかわらず、成績評価に当たっての配慮を行うかどうかについては、各授業担当教員の判断に委ねられています。この欠席届の提出により、授業担当教員による成績評価における配慮を確約するものではありません。

【欠席届を使用することができる主な授業欠席の事由】

本学の教育施設以外で実施する授業等	教育実習等	教育職員免許状又は保育士資格の取得のために必要な実習をいう。
	介護等の体験	教育職員免許状（小学校及び中学校免許）の取得のために必要な体験をいう。
	インターンシップ実習	本学の開講する授業で、単位認定を行う就業体験をいう。
	学外研修等	学部・研究科等において実施する学外研修及び学外施設見学等をいう。
集中講義		授業実施期間中における集中講義をいう。
病気又はけが		学生の通学が困難となる事由が発生した場合における授業等の取扱いについて（平成21年9月16日学長裁定）第4に規定する、学生が感染症に罹患した場合等の取扱いによらない病気又はけがをいう。
課外活動		岡山大学公認サークルの活動に伴う大会等への出場をいう。
就職活動		授業実施期間中における就職活動をいう。

気象警報等・交通機関の運休

- I 本学の所在地（以下「キャンパス」という。）に特別警報及び気象警報（暴風警報、暴風雪警報及び大雪警報に限る。ただし、三朝キャンパスにあつては、大雪警報を除く。以下特別警報とまとめて「気象警報等」という。以下同じ）が発表された場合
- 1 本学のキャンパスを含む地域に、気象警報等が発表された場合の授業は、次のとおり取り扱う。
 - 一 昼間に開講する授業
 - イ 気象警報等が、午前6時から午前8時40分（授業開始時刻）までに出ている場合は、全ての授業を休講とする。なお、気象警報等が、午前8時40分までに解除されても、全ての授業は休講とする。
 - ロ 授業開始後に気象警報が出された場合は、次の時限以降の全ての授業を休講とする。特別警報が発表された場合は直ちに全ての授業を休講とする。
 - 二 夜間に開講する授業
 - イ 気象警報等が、午後3時から午後6時（授業開始時刻）までに出ている場合は、全ての授業を休講とする。なお、気象警報等が、午後6時までに解除されても、全ての授業は休講とする。
 - ロ 授業開始後に気象警報が出された場合は、次の時限以降の全ての授業を休講とする。特別警報が発表された場合は直ちに全ての授業を休講とする。

2 対象となる気象警報等が発表されている地域

- 一 岡山市内にある本学の「津島キャンパス」、「鹿田キャンパス」その他キャンパス及び玉野市並びに瀬戸内市にある本学のキャンパスで行われる授業については、岡山地方気象台から発表の「岡山地域」又は「岡山県南部地域」あるいは「岡山県全域」
- 二 本学の「倉敷キャンパス」で行われる授業については、岡山地方気象台から発表の「倉敷地域」又は「岡山県南部地域」あるいは「岡山県全域」
- 三 本学の「三朝キャンパス」で行われる授業については、鳥取地方気象台から発表の三朝町を含む地域
- 四 上記以外の本学のキャンパスで行われる授業については、当該キャンパスの所在地の管轄気象台から発表のその所在地を含む地域

注) 地域区分の内訳は、以下のとおり。

岡山県全域	=	岡山県南部地域及び岡山県北部地域
岡山県南部地域	=	岡山地域，東備地域，倉敷地域，井笠地域及び高梁地域
岡山県北部地域	=	新見地域，真庭地域，津山地域及び勝英地域
岡山地域	=	岡山市，瀬戸内市，玉野市及び吉備中央町（いずれかの市町村に気象警報等が発表された場合を含む。）
倉敷地域	=	倉敷市，総社市及び早島町（いずれかの市町村に気象警報等が発表された場合を含む。）

3 休講の周知方法等

- 一 気象警報等が発表された場合は、速やかに休講の周知を行うものとし、この場合の休講の周知は、G m a i l，学内掲示，本学のホームページ及びマスメディア等を通じて行うものとする。なお、授業開始後に気象警報等が出された場合は、学内掲示等により周知するとともに、授業中のものにあつては、授業担当教員を通じて周知するものとする。ただし、国立大学法人岡山大学職員就業規則第2条第1項第1号に規定する一般職員（以下「一般職員」という。）の勤務時間外に気象警報等が発表された場合は、翌勤務日の勤務時間内において、速やかに休講の周知を行うものとする。
- 二 前号にかかわらず、気象警報等の発表が、一般職員の勤務時間外において予想される場合は、G m a i l，学内掲示及び本学ホームページにより、前2項に規定する休講の取扱いについて、あらかじめ周知するものとする。
- 三 気象警報等の発表後は、学生を学内の安全な場所で待機させることができるものとする。

4 課外活動の取扱い

休講措置が取られた場合、課外活動は全て禁止とする。

- II 休講措置の対象となる気象警報は発表されていないが、気象状況又は交通機関の運行休止等により、学生の通学が困難となる可能性が高い場合は、教育担当理事が兼ねる副学長の判断により、授業等を休講とすることがある。その場合の休講の周知は、G m a i l，学内掲示，本学のホームページ及びマスメディア等を通じて行うものとする。

Ⅲ 休講措置の対象となる気象警報は発表されていないが、その他の警報等により、通学に利用する交通機関が運行休止になった場合その他これに準じる理由により通学が困難な場合

1 休講措置の対象とならない気象警報等（注1）や交通機関の運行休止その他これに準じる理由（注2）により通学が困難な場合は、届出により、出席できなかった授業を公欠扱いとする。

休講措置の対象とならない気象警報等とは…

上記Ⅰの対象となる気象警報等以外の気象警報又は本学のキャンパス地域には気象警報が出ていないが、学生が居住している地域に気象警報等が出て通学が困難な場合をいう。

交通機関の運行休止その他これに準じる理由とは…

気象現象、事故等により、交通機関が運行休止し通学が困難な場合（交通機関の運行休止が見込まれ、通学することにより帰宅が困難になる可能性がある場合、道路等が遮断され、自宅から大学又は駅等に行くことが困難な場合を含む。）をいう。

2 公欠の届出

公欠の届出は、後日、別紙様式1「授業公欠届（気象警報等・交通機関の運休等）」（両面印刷）

により、学生が所属する学部等の教務担当へ、交通機関の運行休止を明らかにする書類とともに提出するものとする。（なお、根拠書類が提出できない場合は、状況を説明した理由書を添付すること。）

学部等の教務担当は、届出を受理した場合は、その写しにより授業担当教員へ連絡するものとする。

Ⅳ 休講及び公欠の授業の取扱い

一 休講として取り扱う授業については、後日、原則として補講を行うものとする。

二 公欠として取り扱う授業については、原則として補講は行わず、レポートやeラーニング等により授業担当教員が当該授業に相当する学習を課すものとする。ただし、授業担当教員の判断により補講を行うことがある

4 組織図

1. 博士前期課程薬科学専攻

講 座	部 門	教育研究分野	教 授	准教授	講 師	助 教
薬品合成解析学	薬品合成学	創薬有機化学	好光 健彦			
		天然物化学	久保田 高明	栗本 慎一郎		
		精密有機合成化学	澤田 大介		阿部 匠	
		合成薬品開発学		加来田 博貴		
		構造生物薬学	山下 敦子	安井 典久		堤 尚孝
	物質情報解析学	生体機能分析学	上田 真史	田中 智博		
		生物物理化学	須藤 雄気		小島 慧一	
神経生物物理学			井上 剛			
生命反応解析学	分子生命解析学	生体膜生理化学		表 弘志	日浅 未来	
		膜輸送分子生物学		[宮地 孝明]		[樹下 成信]
		分子生物学	垣内 力	古田 和幸		石川 一也
	病態代謝解析学	毒性学	小野 敦	児玉 進		
		病態機能診断学	[岩崎 良章]	[樋口 千草]		
			[大西 勝]			
薬効解析応用学	薬効評価解析学	薬効解析学	上原 孝	高杉 展正		
		臨床薬学	[狩野 光伸]			田中 啓祥
	薬物療法応用学	炎症薬物学		杉本 幸雄		
		生物薬剤学	檜垣 和孝	丸山 正人		
		臨床薬物動態学		合葉 哲也		
環境因子応用解析学	環境解析学	疾患薬理制御科学	有吉 範高	松本 准		
		環境生物薬学	三好 伸一			
	微生物応用学	国際感染症制御学		金 恵淑		
核酸創薬化学	核酸創薬化学	核酸創薬化学	谷口 陽祐			
薬学データサイエンス	薬学データサイエンス	薬学データサイエンス	小山 敏広			

連携講座

連携機関	教育研究分野	客員教授	客員准教授	
国立医薬品食品衛生研究所	安全性評価学	安全性予測評価学	平林 容子 増村 健一	山田 隆志 足利 太可雄
		医薬品評価学	諫田 泰成	
		医薬安全科学	花尻 瑠理	荒川 憲昭
		生物有機化学	出水 庸介	
環境省水俣病総合研究センター	生体金属作用学	分子病態学	藤村 成剛	永野 匡昭 住岡 暁夫 鶴木 隆光
		臨床病態解析学	中村 政明	

2. 博士後期課程薬科学専攻

講 座	教育研究分野	教 授	准教授	講 師	助 教
創薬分子生命科学	創薬有機化学	好光 健彦			
	天然物化学	久保田 高明	栗本 慎一郎		
	合成医薬品開発学		加来田 博貴		
	生体機能分析学	上田 真史	田中 智博		
	生体膜生理化学		表 弘志	日浅 未来	
	膜輸送分子生物学		[宮地 孝明]		[樹下 成信]
	薬物動態制御学	檜垣 和孝	丸山 正人		
	分子生物学	垣内 力	古田 和幸		石川 一也
	生体物理化学	須藤 雄気	井上 剛	小島 慧一	

連携講座

連携機関	教育研究分野	客員教授	客員准教授
国立医薬品食品衛生研究所	安全性評価学	安全性予測評価学	平林 容子 増村 健一 山田 隆志 足利 太可雄
		医薬品評価学	諫田 泰成
		医薬安全科学	花尻 瑠理 荒川 憲昭
		生物有機化学	出水 庸介
環境省水俣病総合研究センター	生体金属作用学	分子病態学	藤村 成剛 永野 匡昭 住岡 暁夫 鶴木 隆光
		臨床病態解析学	中村 政明

3. 博士課程医歯薬学専攻

講 座	教育研究分野	教 授	准教授	講 師	助 教	
薬学系	毒性学	小野 敦	児玉 進			
	疾患薬理制御科学	有吉 範高	松本 准			
	薬効解析学	上原 孝	高杉 展正			
	臨床薬物動態学		合葉 哲也			
	国際感染症制御学		金 惠淑			
	健康情報科学	[狩野 光伸]				田中 啓祥
		小山 敏広				
	炎症薬物学		杉本 幸雄			
	救急災害薬学					
	臨床病態診断学	[岩崎 良章]		[樋口 千草]		
		[大西 勝]				
		[岡部 伸幸]				
	衛生微生物化学	三好 伸一				
	構造生物薬学	山下 敦子	安井 典久			堤 尚孝
精密有機合成化学	澤田 大介			阿部 匠		
核酸創薬化学	谷口 陽祐					

薬学国際連携推進センター	[久保田高明]	[杉本 幸雄] [金 惠淑]		
--------------	---------	-------------------	--	--

臨床薬学教育研究センター	[有吉 範高] [小山 敏広]	[合葉 哲也] [松本 准]		[武田 達明]
--------------	--------------------	-------------------	--	---------

5 薬学部庁舎管理

1. 施錠時間等について

薬学部棟における平日の各出入口の施錠・開錠は、機器により次の時間に行います。
なお、土曜日、日曜日及び祝日等は、終日施錠となります。

- 施錠時間：19時30分
- 開錠時間：7時30分

2. 施錠中の出入りについて

(1) 入退館について（薬学部講義室等配置図参照）

薬学部講義室等配置図に示す①～⑫の出入口のみ入退館が可能です。入館に際しては、学生証を使用し、開錠の上入館してください。

（学部生は、3年次から入館が可能となります。）

(2) その他注意事項

各出入口において、入退館のため開扉した後、約90秒間以上開扉の状態となると、警報が発せられるので、速やかに入退館し、必ず扉を閉めてください。

3. 学生証について

入館許可のシステム設定は各自の学生証に設定しますので、大切に取り扱いってください。万が一紛失した場合は直ちに、薬学部教務学生担当へ申し出てください。

4. アメニティスペース及び図書室の使用について

自習等に、アメニティスペース及び図書室を活用してください。図書室へは、学生証を使用し、開錠の上入室してください。

5. 講義室及び自習室の使用について

授業やセミナー等で使用していない時間帯は、自習等のために講義室及び自習室を使用することができます。ただし、使用できる時間帯は、安全管理上の理由から、7時30分から21時00分までとします。

6. 中庭の使用について

中庭は、憩いの場として自由に使用することができますが、バーベキュー等懇親会を行う場合は、指導教員を通じて学部長の許可を得てください。

7. 自転車置場の使用について（薬学部建物配置図参照）

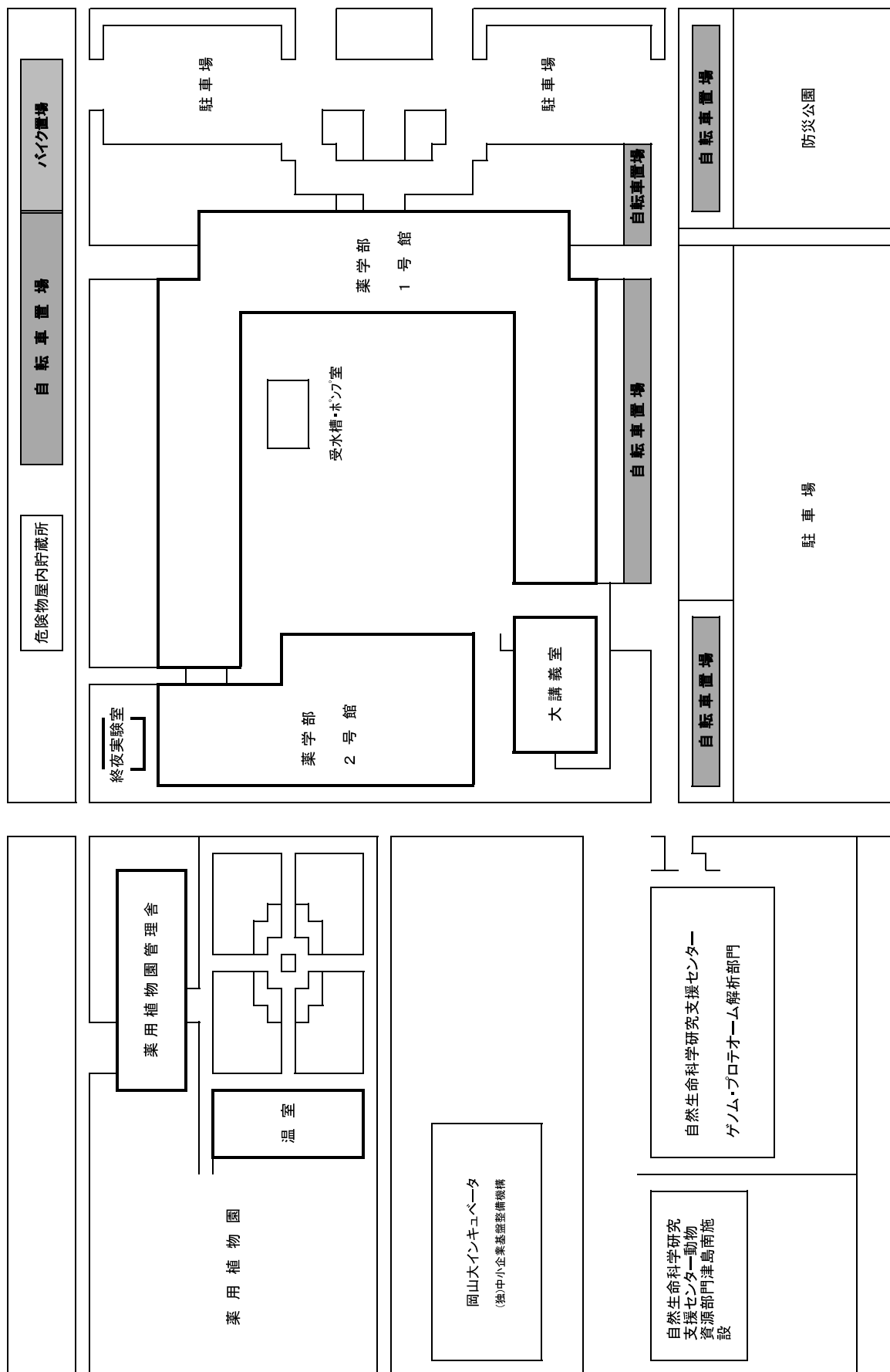
薬学部建物配置図に示す、自転車置場を利用してください。

8. その他

不明な点については、薬学部教務学生担当へ照会してください。

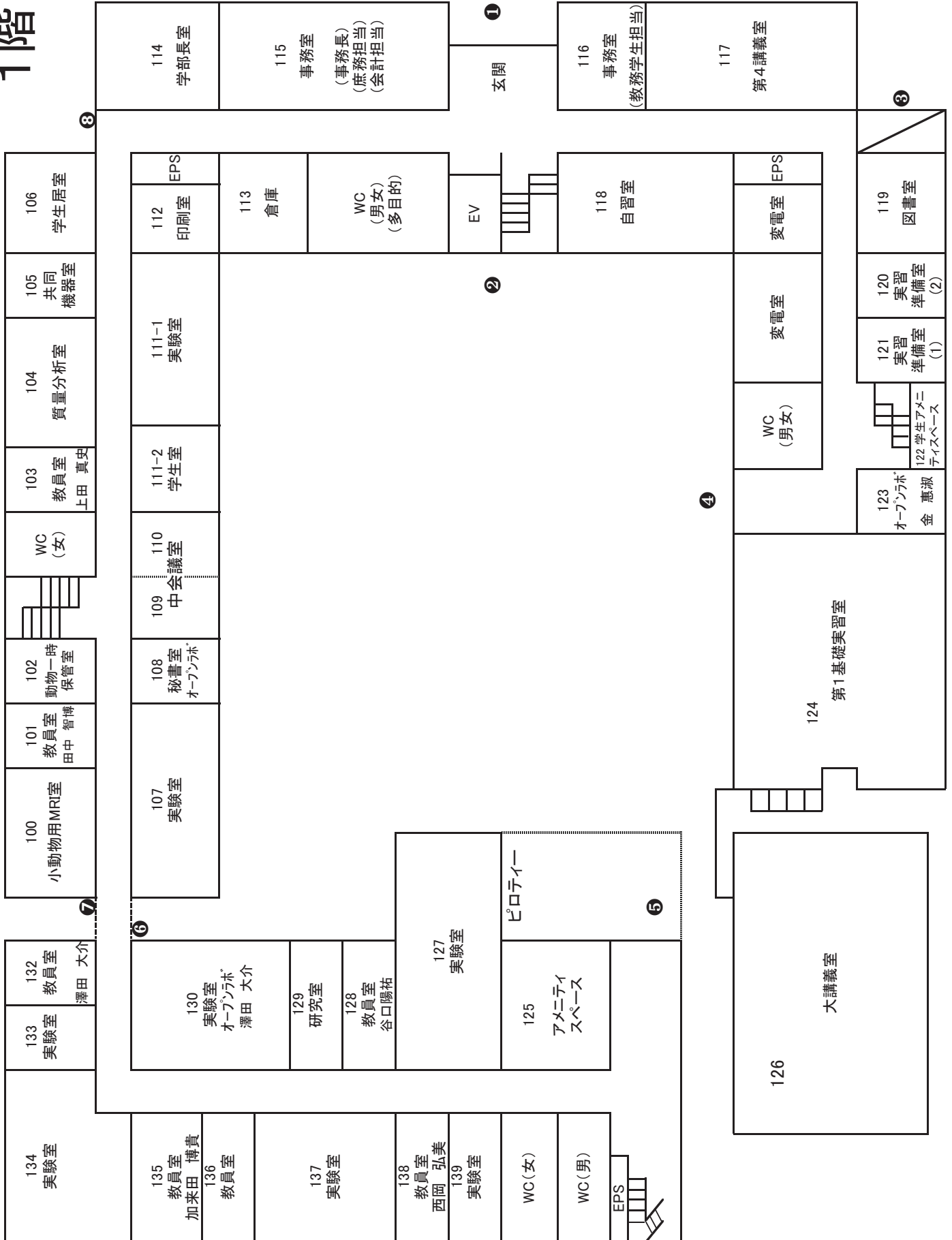
6 薬学部建物配置図

4

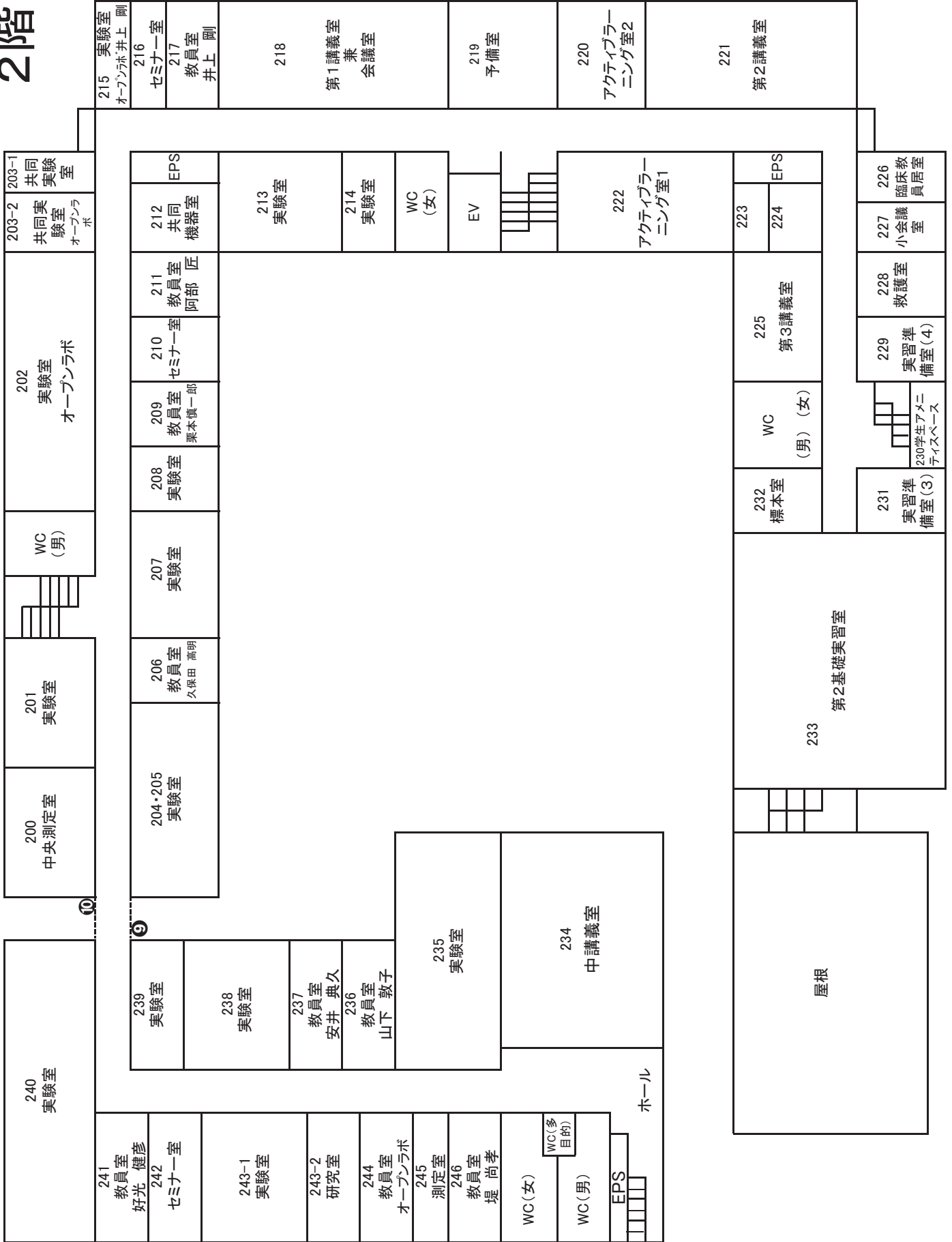


1階

7 理学部機能別等記配置図



2階

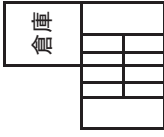


3階

300 実験室	301-1 実験室	301-2 実験室	WC (女)	302 セミナー室	303 低温室	304 共同実験室 オープンラボ三好 伸一	305 実験室
306 実験室	307 教員室 三好 伸一	308 教員室 杉本 幸雄	309 教員室 オープンラボ 井上 剛	310 実験室 オープンラボ 井上 剛(東側1スパン)	311 暗室	312 測定室	315 実験室 小島 慧一
							316 教員室 須藤 雄気
							317 セミナー室
							318 教員室 小野 敦
							319 セミナー室
							320 実験室
							321 実験室
							322 教員室 児玉 進
							323 実験室
							324 教員室 金 恵淑
							オープンラボ*
							325 実験室 須藤 雄気(北 側1スパン)
331 実験室	330 実験室	329 実験室	WC (女)	328 共同 機器室	327 共同 機器室	326 恒温庫	EPS
339 実験室 オープンラボ	338 実験室	337 動物 一時保管室 オープンラボ	336 秘書室 表 弘志 日浅 未来	335 教員室 オープンラボ	334 技術職 員室	333 セミナー室	332 実験室

4階

400 実験室	401 セミナー室	WC (男)	402 実験室	403 実験室	404 実験室
405 実験室	406 教員室 檜垣 和孝丸山 正人	408 実験室	409 実験室	410 教員室 田中 啓祥	411 教員室
407 教員室	412 セミナー室	413 共同機器室	414 実験室	415 動物一時保管室	416 測定室
418 教員室	419 実験室	420 教員室 狩野 光伸	421 実験室	422 実験室	423 実験室
424 教員室 オープンラボ	425 実験室	426 実験室	427 教員室 上原 孝	428 セミナー室	429 実験室
430 実験室	431 実験室	432 オープンラボ 上原 孝	433 セミナー室 久保田 翔	434 実験室	435 教員室 石川 一也
436 実験室	437 実験室	438 実験室	439 実験室	440 教員室 高杉 展正	441 教員室 垣内 力
442 実験室	443 実験室	444 教員室 古田 和幸	445 実験室	446 実験室	447 教員室 上原 孝



12